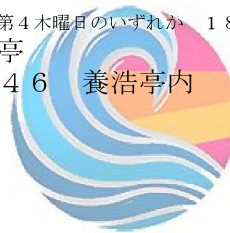


皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 小林 一夫会長
 ◇ソング 奉仕の理想



BE THE INSPIRATION

第1456回例会 平成30年12月6日(木)

会長の時間

小林 一夫

皆さん、こんにちは。今日は急遽休む人が多くて、出席者4人という寂しい例会です。ガバナー補佐の井上さんにはお忙しいところ、例会に出席して頂きまして、ありがとうございます。今日も小林正観さんの本の内容についてお話させて頂きます。



「ツイている」と考えている人は一生お金に困らないらしい。「銀座まるかん」の創設者、斉藤一人さんは、1994年以来全国高額納税者番付の総合10位以内に連続でランクインし、2003年には累計納税額で日本一になっていると聞きました。随分前になりますが、国道沿いの食堂で手にした雑誌に斉藤一人さんのインタビュー記事が掲載されていました。斉藤一人さんは、自分はとてもツイていると考える人物であり、たとえば頭上から鉢植えが落ちてきて足に骨折しても、ツイていると思えたタイプの人間なのだそうです。骨折しているのになぜツイているのでしょうか？普通の人ならツイていないと思うところです。斉藤一人さんはこう考えるそうです。あと30センチずれていたら頭を直撃し、死んでいたかもしれない。だから足に落ちた自分はツイている。もし朝、家を出る時に下駄の鼻緒が切れたとしたら不吉だと思う人は多いでしょう。けれど斉藤一人さんは家を出る前だから鼻緒をすげ替える事も、靴に履き替える事も出来るので、今、切れて良かったと考えるそうです。そういうふうに自分は何でもツイてると思えるタイプなので、これからもきっとツイていると言うのです。この考え方は松下幸之助さんに似ており、しかも2人とも日本で有数の経営者になっています。

私も同じように考えるタイプです。(小林正観)どこにも勤めた事がなく、お給料をもらった事がないのに、一度もお金に困った事はありません。私達は幸運な時代に命をもらっています。なぜなら、松下幸之助さんがツイていると言いながら生きてきた事、そして斉藤一人さんがツイていると言いながら生きてきた事、その両方を同じ時代に知り、2人の共通性を見る事が出来るからです。2人はともに幸せの本質として

「不幸はない」という意味合いの事を言っています。いかなる状況でさえ、ツイている。恵まれていると捉えていました。お金に執着があったわけではないけれど、ツイていると感謝した結果として、標準的な人よりも裕福になっていたわけです。2人の共通性の中にお金に関する宇宙の法則があるようです。そして誰であれ、その法則を使いこなせれば、生涯お金に困らないのかもしれない。

自分のようにお金が欲しいと思っていると、お金の方から逃げてしまいますが、それでもお金のために仕事をしなければならないという悲し運命の持ち主ですが、この2人の不幸はないという言葉に感心致しまして、不幸はないという事ではなく、不幸だという事は考えないという事ではないかと思いました。斉藤一人さんは「スリムどかん」で儲けた人ではないかと思えます。

幹事報告

畝 徳治



1. 地区事務所より青少年交換派遣学生10月次報告書
2. バギオ基金より事業報告書及び寄付のお願い

以上がきています。

12月20日のクリスマス例会は「すしかつ」で行います。バスの準備を致しますが、午後5時に高田さんの所を出てまわる予定になっています。1月31日の新年会の会場は養浩亭の予定です。

《プログラムについて》

12月	6	木	クラブ総会	理事役員会
	13	木	通常例会	会員卓話
	20	木	クリスマス例会	すしかつ
	27	木	休会	
1月	3	木	休会	
	10	木	通常例会(自由協議)	理事役員会
	17	木	休会	
	24	木	通常例会	干支の話
	31	木	新年会	養浩亭

出席率 50.0%

R I 第 2 5 7 0 地区 第 4 グループ



ガバナー補佐 井上 敏夫様

今回の会長・幹事会で提案させて頂く内容ですが、次年度のガバナー補佐を本庄南さんに受けて頂きました。私としてケツを割って辞めても構わないのですが、それではロータリーの精神的な事もありますし、次の次まで皆さんで決めた事をやって頂こうと思って、どうしたらガバナー補佐を受けて頂けるかという事で、補佐の仕事を経減する形で提案してきましたが、次の会長、幹事会で提案致しますが、小クラブの場合は補佐の代行2名を要請出来る。補佐がロータリー業務に支障をきたす事には、その業務はクラブ訪問やセミナー等の出席を行う。この代行をするのが直前ガバナー補佐、次年度のガバナー補佐、次年度のガバナー補佐が未定の場合は、その担当クラブの会長が決まるまで代行するという事を提案させて頂こうと思います。

極端に言えば、補佐を受けた場合でも用事があるという事で出なければ、一切仕事をしなくても済むというシステムです。皆さんで決めた事をどうにかして次にまわしたいので、どうしたら出来るかの発想の元です。私としては補佐の問題を提案するのは次の会長、幹事会で最後です。ばかばかしくなってきました。いくら言っても、ひどい話ですが、クラブを解散するとか脅しのような事を川本さんでは言われました。ロータリーの場合は単年度ですから、1年経てば自分の仕事は終わります。本来一切何もしないでほほんと過ごせばいいと思いますが、それではロータリー精神に反すると思いますので、この形を提案させて頂きます。

本庄南さんはIMについては開催しない方向です。お願いしているのは、IMは開催しなくても良いけれども、第4グループの懇親会だけは開催して欲しいとお願いしています。参加する方も人数分だけの会費で済みます。今までは全員登録になっています。今年も全員登録ですが、懇親会だけでしたら、他のクラブの方達との顔合わせになりますし、そういう形でやって頂こうとお願いしています。

ロータリーも転換期にきております。補佐も昔と違って、役割をどうしたらいいかという事になっています。今年度は私が感じた事は提案してきましたが、この事を次のガバナー補佐に引き継いで頂いて、いい方向に変えて頂きたいと思えます。

次は川本さんに受けてくれと話してありますので、皆野長瀬さんはその次になりますので、準備をして頂ければと思います。検討して頂きたいと思えます。その時にはガバナー補佐はなくなっているかもしれませんが、形として残っているケースもあります。私が今やっている事は会長よりも楽です。忙しかったのは、最初の11クラブの訪問だけです。先日は、合同例会で行った本庄さんでは、行っただけでやる事はありませんでした。小さいクラブの場合は代行2名要請すれば、忙しい時には代行してもらえばいいと思えます。ガバナーには副ガバナー、

会長には副会長といったように副がいますが、補佐には補佐しかいません。どうしても出なくてはいけない時には代行の方に出て頂ければいいと思えます。代行の方も次のガバナー補佐ですので、自分の年度に楽だと思えます。と言う事で代行の提案をさせて頂きます。こういった事で皆野長瀬さんに検討してもらって、会長、幹事会でご意見を頂きたいと思えます。

うちも16人で、3人が免除会員です。50以下の子が5名います。その子達が率先してやってくれているので、高齢の人達も自分なりのロータリー活動をしていて、若い子を見守っていて、和気藹々としたクラブです。ここ10年で無理な事業からの撤退や、昼間の例会を夜に変えました。例会も4回を3回にしました。組織関係では、余所のクラブの良い所を取り入れて、SAAと出席報告を幹事がやっています。地元の若い子も入ってきましたので、活気は出てきていますが、本庄、深谷東、深谷さんのような人数の多いところに持っていかれます。ここも難しいとは思いますが、皆野長瀬さんは魅力のあるクラブだと思いますから、第4グループ、2570地区全体で応援すべきクラブだと思います。補佐会議の時にも伝えようと思っています。

今日は創立順でガバナー補佐を出すという事についてどうしたらいいかという事で提案事項の説明にお伺いしました。どうしたら受けられるかという事で検討して頂きたいと思えます。川本さんは今のところ何とも言っていません。一昨日川本さんに行ってお願ひしてきました。あそこのクラブは永田さん、長老の一言で決まるんですが、行政区は深谷ですが、親クラブは寄居です。ちょっと深谷5クラブと言っても1クラブだけ浮いている状態です。そこにも難しいところがあります。あと提案したのは、親クラブと一緒に合同開催する形を取ったらどうですかと。順番で親クラブの番ではもうやったという事で飛ばしてまわすという事にしたらどうですかという事です。こちら親クラブと合同でやるという形を取って頂ければやった形になります。断ると前例を作ってしまうので、合同でもやったという形を取ればまわると思えます。

補佐を受けてもやる事はないんです。最初だけです。IMをやらなかつたらクラブ訪問だけで終わります。いけないのかもしれませんが、そんな事を言っている時代ではないんです。忙しいのは7月、8月でクラブをまわってしまえば終わります。他はありません。セミナー出席要請がありますが、セミナーが多いと言っているんですが、必要だと思うセミナーには出ますが、他には出るつもりはありません。他のガバナー補佐からなぜ出て来ないかと文句が出ています。部門委0員長からも井上君だけが来て来ないよと。構いません。必要だと思えば出ますが、人数合わせでは出ませんよと。

もう一度ガバナー補佐の要請がきた時には検討してみてください。どうしてもという時には秩父さんと話し合っただけでやる事ではないのでしょうか。順番でやろうと決めた事なので、それを崩すと、今後どうなるかという事になってしまします。よろしくお願い致します。